

グリセリンBC液「ヨシダ」

0.025%ベンザルコニウム塩化物添加グリセリン【滅菌済】



■ 便利で扱いやすい包装規格を用意しました!

- 軽量なため、携帯に便利です。
- 使用頻度に応じて3規格(100mL、250mL、500mL)からお選びいただけます。
- 付属の注入用ノズル【滅菌済】を使用することにより、薬液の注入が容易になります。

注入用ノズル【滅菌済】



実用新案

付属の注入用ノズルに付けて使用ください。液の注入方法は裏面をご参照ください。



特 徴

- グリセリンにベンザルコニウム塩化物を0.025%添加した製剤です。
- 滅菌済の製品です。
- そのまま投薬が可能です。
- 製剤業務の省力化が可能です。
- 付属の注入用ノズルも滅菌済です。(ポリ)

注入用ノズル装着後



皮膚刺激性

皮膚刺激性試験(ウサギ)における一次刺激性インデックス(PII)

ウサギの背部皮膚にグリセリンBC液「ヨシダ」とグリセリン各0.5mLをそれぞれ2cm×3cmのガーゼにしみ込ませて4時間貼布・除去し、一定時間(1、24、48時間)経過後の表皮の状態を観察した。Federal Register(1972)の判定基準に従って評点化し、PII値(一次刺激性インデックス)を求めた後、ISO 10993-10(2002)の基準に基づいて評価した。1匹あたり3区画、3匹使用した。

その結果、グリセリンBC液「ヨシダ」とグリセリンのPII値は0.2であり、ISO 10993-10(2002)の基準によれば無刺激性と評価された。

一次刺激性インデックス(PII)

	無刺激性	弱い刺激性	中等度の刺激性	強い刺激性
	0.5	2	5	8
グリセリンBC液「ヨシダ」	0.2			
日本薬局方 グリセリン	0.2			

ISO 10993-10(2002)基準より

■ 注入用ノズルの装着方法/液の注入方法



1 容器のキャップをはずし、付属のノズルを確実に取付けてください。



2 注入用ノズルのキャップを外してください。



3 液を注ぐ際は、ノズルの空気穴を上にしてください。(△マークが目印です)。



4 容器は押さしないで、液を適量注いでください。

● 液の注入例



溶解剤

薬価基準未収載

グリセリンBC液「ヨシダ」

Glycerin BC Solution "Yoshida"

● 0.025%ベンザルコニウム塩化物添加グリセリン [滅菌済]

効能・効果、用法・用量等の改訂にご留意下さい。

日本標準商品分類番号	872357
承認番号	21700AMZ00422000
薬価収載	薬価基準未収載
販売開始	2005年7月

貯法：気密容器
使用期限：3年(ラベルに記載)

組成・性状

1. 組成 グリセリン(C₃H₈O₃)84.0~87.0%を含む。添加物としてベンザルコニウム塩化物を含む。
2. 性状 無色透明の粘性の液である。

効能・効果 用法・用量

洗腸液の調剤に用いる。また、溶剤、軟膏基剤、湿潤・粘滑剤として調剤に用いる。

取扱上の注意

使用途中で保管する時は密栓しておくこと。

包装

100mL
250mL
500mL



ヨシダ製薬

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入曽951

Y's Square <http://www.yoshida-pharm.com/>

2013年3月作成

資料請求先

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10
Tel: 03-3381-2004

⑤1305KK
400022